

ようこそ



すべての駐在員管理サービスを、
ワンストップで!

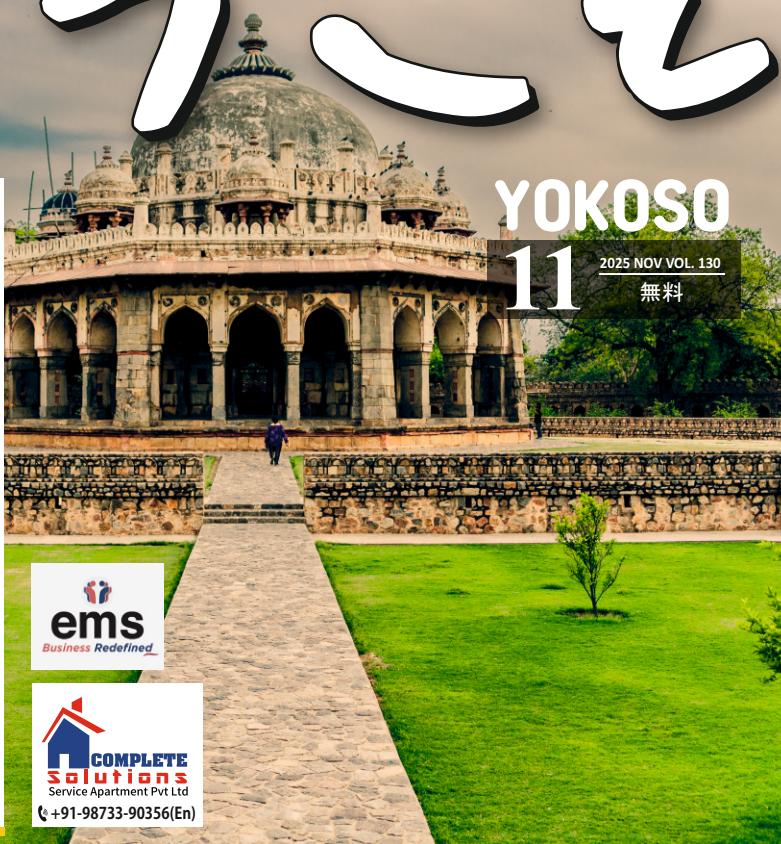
パンフレットはこちら



+91-95991-98950

お問い合わせください

enquiry@expatria.in



YOKOSO

11

2025 NOV VOL. 130

無料



温かいお茶に
小さな幸せを
感じる季節



FORMULA
GROUP
Mobility Managed.®

www.formulaindia.co.jp



マナン・アガルワル
(Manan Agarwal)

✉ manan.agarwal@krayman.com



菅原久子

✉ hisako.sugawara@krayman.com



ラジニッシュ・クマール
(Rajnish Kumar)

✉ rajnish.kumar@krayman.com



アンクリ・ベイロリア
(Ankur Bairoliya)

✉ ankur.bairoliya@krayman.com

2025-2029年 インドにおける内部監査実務の 戦略的行動計画および標準化

インドのビジネス環境が、ますます複雑で、ダイナミックかつ技術主導型へと進展する中、内部監査の専門職も大きな変革を迎えています。これを受け、Internal Audit Standards Board India(内部監査基準委員会)は、2025-2029年を対象とした包括的な「戦略的行動計画(Strategic Action Plan)」を策定しました。本計画は、インド企業における内部監査実務を強化・標準化し、ガバナンス、リスク管理、財務の卓越性を向上させるとともに、国際基準との整合性を図ることを目的としています。

ビジョン & ミッション

本計画は、インドにおいて、内部監査および管理会計を通じて、ガバナンス・財務意思決定・戦略的事業パフォーマンスを牽引する一流の専門領域として位置づけることを目指します。そしてその達成のために、内部監査および管理会計の領域において、標準・ベストプラクティスの策定、トレーニング・認証・知識共有を通じた能力構築、AI・データ分析・自動化などの技術・デジタルトランスフォーメーションの統合、グローバル機関との連携による整合・認知拡大、さらには企業の財務ガバナンスおよびパフォーマンス管理において倫理的かつ持続可能な実務を展開することをそのミッションとします。

4年間戦略行動計画(2025-2029年)

本計画は、段階的に進められるフェーズ構成となっており、それぞれが内部監査専門職における特定の戦略的優先事項を強調しています。

1. 2025-2026年: 基盤整備および基準強化

- 金融・銀行・保険(BFSI)、IT、公共部門ユニットなどの産業向け業種別フレームワークを含む、改訂された内部監査基準の更新および発行
- 専門認証プログラムおよび能力構築イニシアチブの開始。全国的なワークショップを含み、内部監査専門家の技能と知識の向上
- 技術ガイドを提供するための研究出版物の開始、そしてインド証券取引委員会(SEBI)、インド準備銀行(RBI)、企業省(MCA)等の規制当局に対する活動提言活動(アドボカシー)を行うこと。を通じて、内部監査規制を国際的ベストプラクティスへの整合
- 2. 2026-2027年: デジタルトランスフォーメーションおよび技術採用
 - AI(人工知能)、ロボティック・プロセス・オートメーション(RPA)、およびデジタル監査フレームワークの統合に関するガイダンスを開発し、データ駆動型監査およびリスク評価を強化
 - 監査における技術に焦点を当てたサミットやラウンドテーブルを開催し、監査専門家、CFO、規制当局、技術企業間の協働を促進
 - スタートアップ、ヘルスケア、eコマース、公共団体といった産業別に特化した監査マニュアルを発行し、業界別専門化を奨励
- 3. 2027-2028年: 高度ガバナンスおよびグローバル統合
 - バランススコアカード、戦略的コスト管理、ビジネス・アナリティクスといった高度な管理会計の実務を通じて、ガバナンス・枠組みを強化



- ・国際会計士連盟(IFAC)、情報システム監査・統制協会(ISACA)、内部監査人協会(IIA)といった機関との国際的なパートナーシップを促進し、知識交換を活性化させるとともに、インドの専門家がグローバル認証を取得するよう奨励

4. 2028-2029年: 業界リーダーシップおよび将来志向の監査

- ・AI駆動監査、予測リスクモデル、次世代監査技法に関する研究を通じて、監査専門職の将来適応力を確保
- ・国際会議および思想的リーダーシップ・イベントを組織し、インドを内部監査卓越性のグローバル・リーダーとして位置付ける
- ・標準および技術統合の採用状況を監視し、内部監査における継続的改善を図るための強固なフィードバック・メカニズムを確立

主要な重点分野

この計画では、期間を通じて取り組むべき以下の重要な要素が強調されています。

- ・内部監査フレームワークと業界固有の基準の包括的な策定
- ・認証(資格)、研修、および知識普及を通じた能力開発(Capacity building)

- ・監査の品質と有効性を高めるため、AI、データ分析、自動化といった最先端技術の統合
- ・規制当局との連携を通じた強固なコーポレートガバナンスのための提言活動(アドボカシー)
- ・ESG原則に沿った倫理的慣行と持続可能な財務管理の重視

結論: インドの内部監査への影響

この戦略計画は、内部監査機能を単なるコンプライアンス(法令遵守)に焦点を当てた役割から、先進的(プロアクティブ)で技術活用型、そしてコーポレートガバナンスとリスク戦略に不可欠な役割へと進化させる上での大きな節目となります。

この計画は、インド企業が透明性、リスク管理、および戦略的意図決定を効果的に強化し、国際的な期待や基準に整合させるための舞台を整えます。

結論として、インドにおける内部監査のための「2025年～2029年戦略的行動計画」は、国内的および国際的にこの専門職の業務範囲、能力、そして評価を再定義する、先見的な設計図です。インドの企業と監査専門職にとって、このロードマップを受け入れることは、今後数年間でガバナンスの革新と未来志向の財務的卓越性を主導する、比類ない機会をもたらします。

クライアントに聞いて: KrayMan Consultants LLP (KrayMan) は、グルグラムに本社を置き、インド全土の日系クライアントにサービスを提供している会計・アドバイザリーフームです。インド進出、会計、保証、税務、規制、トランザクション・アドバイザリー、M&A、法務、人事、給与サービスなどに特化しています。私たちは、勅許会計士(CPA)、会社秘書、弁護士、MBAで構成されるプロフェッショナルチームです。詳細については、弊社ウェブサイト www.krayman.com/jp をご覧ください。サポートが必要な場合は、communications@krayman.comまでご連絡ください。

